



第84期 報告書

平成30年1月1日～平成30年12月31日

 鳥越製粉株式会社

証券コード：2009

株主の皆様へ

株主の皆様には平素より格別のご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、当社第84期（平成30年1月1日から平成30年12月31日まで）の報告書をお届けするにあたり、ここに営業の概況についてご報告申し上げます。

平成31年3月28日

代表取締役会長兼社長 鳥越 徹



営業の概況

当期のわが国経済は、企業収益や雇用・所得環境の改善が続き、景気は緩やかな回復基調で推移しましたが、米中貿易摩擦問題の動向が世界経済に与える影響や海外経済の不確実性、金融資本市場の変動などにより、先行きは不透明な状況にあります。

食品業界におきましては、健康志向にマッチした商品のニーズが増加する一方、消費者の低価格志向が依然として根強く、厳しい経営環境が続い

ております。

このような状況の中にあって当社は、当期より新たな中期経営計画「TTC150 Stage1」をスタートさせ、持続的成長に向けた諸施策に取り組みました。当期の主な成果としては、低糖質食品のパイオニアとして、「パンdeスマート」シリーズの更なる拡充を行いました。また、当社グループにおける事業の再構築を図るため、運送事業子会社の売却や、子会社事業の一部譲渡を行い、経営資源

の選択と集中を実行しました。

販売面につきましては、小麦粉の製品価格の値上げやミックスの出荷数量が増加したことなどにより、売上高は203億2千1百万円と前年同期に比べ1億8千4百万円（0.9%）の増収となりました。

収益面につきましては、価格改定を契機とした販売競争が激化するなか、原材料費や労務費、物流費等が増加した結果、経常利益は14億5千2百万円と前年同期に比べ2億4千7百万円（14.6%）の減益、当期純利益は固定資産売却益を計上した結果、11億4千7百万円と前年同期に比べ2千7百万円（2.4%）の減益となりました。

昨年12月に米国を除く「環太平洋経済連携協定」（TPP11）が、2月には「日EU経済連携協定」（EPA）がそれぞれ発効し、また、日米間の「物品貿易協定」（TAG）交渉の行方にも注目が集まっています。これら貿易のグローバル化、自由化の進展により、当社事業の主要な原料である小麦・大麦を始めとする輸入穀物からその二次加工輸入食品まで、関税の撤廃や順次引き下げが行われ、原料取得や製品販売を巡って企業間競争は更に激しさを増し、業界構造に多大な影響を及ぼすことが

予想されます。

本年は中期経営計画「TTC150 Stage1」の二年目であり、更にスピードを上げて基本方針や諸施策の実行に取り組み、特に、健康志向の高まりから機能性が高く評価され、今後市場の拡大が見込める穀物を中心とした食品事業を更に推進し、健康な社会づくりに貢献して参ります。

当社としましては、役職員一同、時代の変化に適時・適切に対応し、「得意先の繁栄のために奉仕する」という企業理念を実践し、「世の中になくってはならない企業」の実現を目指して参ります。

株主の皆様におかれましては、今後なお一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

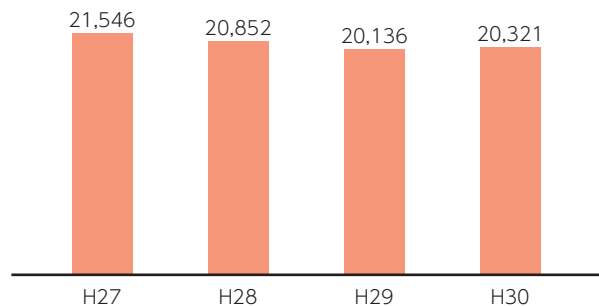
業績ハイライト (単体)

売上高

20,321百万円
前期比0.9%増



■(単位：百万円)

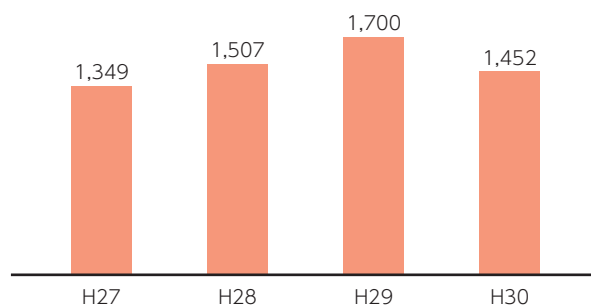


経常利益

1,452百万円
前期比14.6%減



■(単位：百万円)

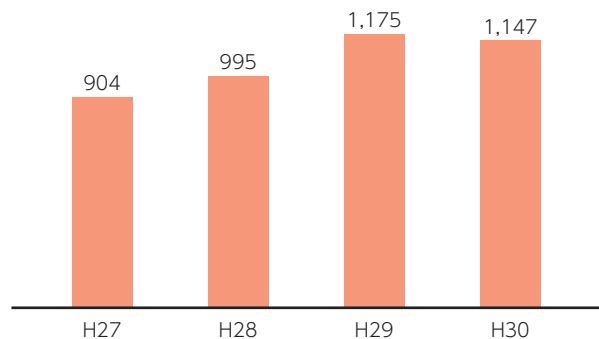


当期純利益

1,147百万円
前期比2.4%減



■(単位：百万円)

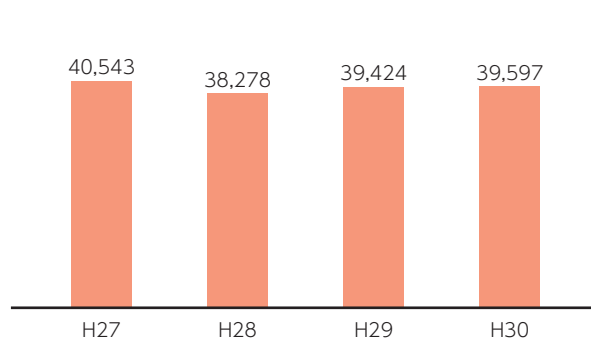


総資産

39,597百万円
前期比0.4%増

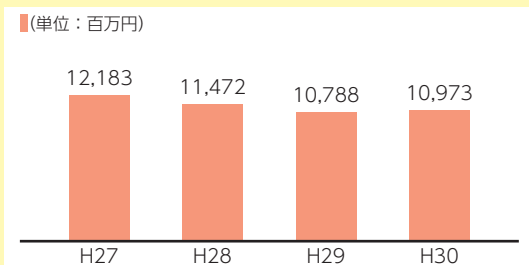


■(単位：百万円)



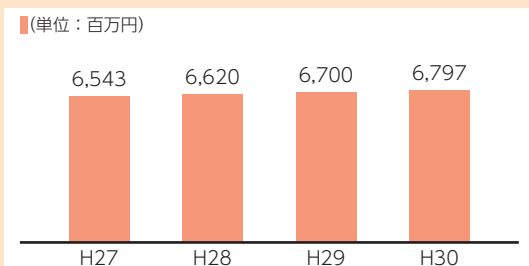
各部門の概況

製粉部門



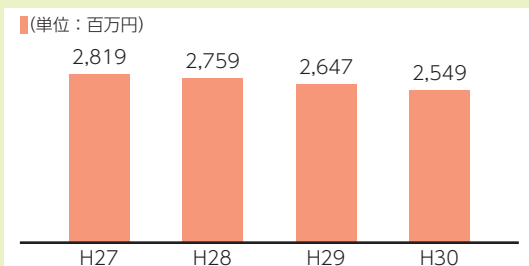
販売競争の激化により小麦粉の出荷数量は減少しましたが、輸入小麦の政府売渡価格引き上げに伴い製品価格の値上げを実施した結果、売上高は、109億7千3百万円と前年同期に比べ1億8千5百万円（1.7%）の増収となりました。

ミックス類等加工食品部門



加工食品の販売が減少しましたが、低糖質食品シリーズ「パンdeスマート」の売上が順調に上伸した結果、売上高は67億9千7百万円と前年同期に比べ9千6百万円（1.4%）の増収となりました。

精麦飼料部門



精麦の主要販売先である焼酎業界の需要が伸び悩むなか販売競争が激化し、製品の出荷数量が減少した結果、売上高は25億4千9百万円と前年同期に比べ9千7百万円（3.7%）の減収となりました。

トピックス

中期経営計画『TTC150 Stage1』

当社グループは、創業150周年を迎える2027年を見据え、2018年から2020年までの3ヵ年の中期経営計画『TTC150 Stage1』を策定いたしました。

『TTC150 Stage1』は、Team Torigoe Challengeの頭文字と、2027年の創業150周年の数字を組み合わせたものです。本計画は、創業150周年に向け、当社グループが一丸となって挑戦し、持続的に成長するための足場固めの期間と位置付け、取り組みを行っております。

基本方針

1. 時代の変化に対応した新しい価値の創出
2. 顧客本位の事業活動
3. 社員一人ひとりが成長できる環境の整備
4. 事業活動を通じた社会への貢献

農研機構と共同でパン用小麦「さちかおり」を開発

当社は農研機構と共同で、フランスパンに適した準強力小麦の新品種「さちかおり」を育成しました。

加工試験で「ミナミノカオリ」よりパンの膨らみが大きく、焼き色が濃く、うま味および甘味成分が高く、おいしいフランスパンが出来ます。

今後、更に試験や研究を重ね、将来的な販売に向けた準備を行って参ります。



この1年のイベントなど

ドイツフェスティバル

当社が事務局を務める「ドイツパン研究会」として2018年11月に東京都立青山公園で開催された「ドイツフェスティバル」のブースに当研究会の会員各社が出店し、ドイツパンやドイツのお菓子の販売を行っていただきました。

好天に恵まれた日には商品が完売するなど、大変盛況でした。



静浜基地の「空上げ」

静岡工場があります静岡県の航空自衛隊静浜基地と協力し、静岡県産小麦を使用した小麦粉と地元の特産食材を使用した「特製の唐揚げレシピ」を作り上げました。(航空自衛隊にちなみ、その名も「空(から)上げ」。)

この「空(から)上げ」は2018年5月に行われた静浜基地航空祭で地域へ向けてPRされ、月に一度、全隊員に提供されることになりました。



うきは麺祭り うきは祭り

当社創業の地である福岡県うきは市では、2018年5月の「うきは麺祭り」に協賛し、社員がそうめん流しのお手伝いを行いました。

また11月に行われた「うきは祭り」で、パン作りやクッキー作り体験教室を開催し、多くの家族連れに参加いただきました。



パン祖のパン祭り

2018年1月に静岡県伊豆の国市で行われた「第12回パン祖のパン祭り」に協賛しました。パン作りの甲子園、「全国高校生パンコンテスト」も同時開催され、優秀者には「鳥越製粉賞」の授与も行われました。



個別財務情報

貸借対照表 (要旨)

(単位：百万円)

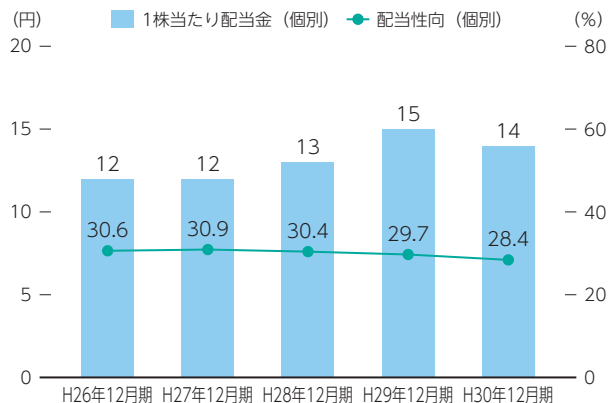
科 目	当 期	前 期
	平成30年12月31日現在	平成29年12月31日現在
資産の部		
流動資産	19,356	16,734
固定資産	20,241	22,689
有形固定資産	8,470	9,205
無形固定資産	150	195
投資その他の資産	11,621	13,288
資産合計	39,597	39,424
負債の部		
流動負債	3,736	4,440
固定負債	4,366	3,143
負債合計	8,103	7,583
純資産の部		
株主資本	26,117	25,319
資本金	2,805	2,805
資本剰余金	2,782	2,782
利益剰余金	22,655	21,857
自己株式	△ 2,124	△ 2,124
評価・換算差額等	5,376	6,520
純資産合計	31,494	31,840
負債純資産合計	39,597	39,424

損益計算書 (要旨)

(単位：百万円)

科 目	当 期	前 期
	平成30年1月1日から平成30年12月31日まで	平成29年1月1日から平成29年12月31日まで
売上高	20,321	20,136
売上原価	15,866	15,395
売上総利益	4,454	4,741
販売費及び一般管理費	3,208	3,239
営業利益	1,246	1,501
営業外収益	227	222
営業外費用	21	23
経常利益	1,452	1,700
特別利益	225	—
特別損失	27	8
税引前当期純利益	1,649	1,691
法人税等合計	502	516
当期純利益	1,147	1,175

● 配当の推移・配当性向 (個別ベース)



(注) H29年12月期の1株当たり配当金は創業140周年記念配当1円を含んでおります。

連結財務情報

連結貸借対照表 (要旨)

(単位：百万円)

科 目	当 期	前 期
	平成30年12月31日現在	平成29年12月31日現在
資産の部		
流動資産	20,801	18,127
固定資産	19,586	22,192
有形固定資産	9,877	10,744
無形固定資産	223	276
投資その他の資産	9,484	11,171
資産合計	40,387	40,320
負債の部		
流動負債	3,974	4,691
固定負債	4,749	3,592
負債合計	8,723	8,284
純資産の部		
株主資本	26,254	25,481
資本金	2,805	2,805
資本剰余金	2,811	2,811
利益剰余金	22,762	21,989
自己株式	△ 2,124	△ 2,124
その他の包括利益累計額	5,376	6,520
非支配株主持分	32	33
純資産合計	31,663	32,035
負債純資産合計	40,387	40,320

連結損益計算書 (要旨)

(単位：百万円)

科 目	当 期	前 期
	平成30年1月1日から平成30年12月31日まで	平成29年1月1日から平成29年12月31日まで
売上高	22,628	21,922
売上原価	17,773	16,909
売上総利益	4,855	5,013
販売費及び一般管理費	3,568	3,475
営業利益	1,287	1,537
営業外収益	225	215
営業外費用	25	27
経常利益	1,487	1,725
特別利益	211	0
特別損失	45	8
税金等調整前当期純利益	1,653	1,717
法人税等合計	532	539
非支配株主に帰属する当期純利益 (△は損失)	△ 1	△ 0
親会社株主に帰属する当期純利益	1,122	1,178

連結キャッシュ・フロー計算書 (要旨)

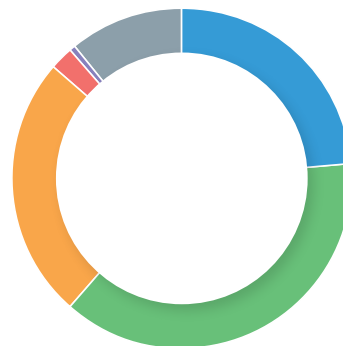
(単位：百万円)

科 目	当 期	前 期
	平成30年1月1日から平成30年12月31日まで	平成29年1月1日から平成29年12月31日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,485	1,013
投資活動によるキャッシュ・フロー	433	△ 1,896
財務活動によるキャッシュ・フロー	430	△ 695
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 0	0
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	2,348	△ 1,578
現金及び現金同等物の期首残高	10,021	11,600
現金及び現金同等物の期末残高	12,370	10,021

株式の状況 (平成30年12月31日現在)

発行可能株式総数	70,000,000株
発行済株式の総数	26,036,374株
株主数	10,705名

株式の所有者別分布



個人・その他	23.8%
金融機関	37.8%
その他国内法人	24.8%
外国人	2.4%
証券会社	0.6%
自己名義株式	10.6%

大株主 (上位10名)

株主名	持株数 (千株)
有限会社鳥越商店	1,420
三菱商事株式会社	1,300
三井物産株式会社	1,300
株式会社福岡銀行	1,162
株式会社三菱UFJ銀行	1,145
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口)	762
株式会社広島銀行	730
株式会社佐賀銀行	630
損害保険ジャパン日本興亜株式会社	567
三井住友信託銀行株式会社	550

(注) 上記のほか当社所有の自己株式2,762千株があります。



株主優待のご案内

優待内容

当社の小麦粉を使用した特製「そうめん」 1箱

対象となる株主様

毎年12月31日現在の株主名簿および実質株主名簿に記載された500株 (5単元) 以上の株式を保有していただいている株主様を対象といたします。

贈呈の時期

毎年4月中に発送の予定です。

会社の概要

■ 会社の概要 (平成30年12月31日現在)

創業年月日 明治10年10月15日
設立年月日 昭和10年12月24日
資本金 2,805,266千円
営業品目 製粉部門
小麦粉 (パン用・めん用・菓子用)、
ライ麦粉、ふすま
ミックス類等加工食品部門
業務用ならびに家庭用プレミックス、
製パン・製菓用原材料、品質改良材、
日持向上剤、冷凍食品、ドライイースト、
食塩、米粉、雑穀加工品、大麦粉
精麦飼料部門
押麦、焼酎用等の原料麦、麦ぬか、圧ぺん麦、
加熱圧ぺんとうもち2種混合飼料、
配合飼料

従業員 257名
技術提携等 アメリカのドーン・フード・プロダクツ社と技術提携、
ドイツのウルマ・シュパッツ社と業務提携、
豊通食料株式会社と継続的売買契約、
アメリカのファイバースター社と業務提携

■ 取締役および監査役 (平成31年3月28日現在)

代表取締役会長兼社長	鳥	越	徹
取締役副会長	高	峰	和宏
取締役常務執行役員	中	川	龍二三
取締役	田	中	優次
常任監査役 (常勤)	池	長	大五郎
監査役 (常勤)	小	田	博之
監査役	秀	島	正博
監査役	岡	崎	信介

- (注) 1. 取締役 田中優次は、社外取締役であります。
2. 監査役 秀島正博および同 岡崎信介の2名は、社外監査役であります。
3. 取締役 田中優次ならびに監査役 秀島正博および同 岡崎信介を東京証券取引所および福岡証券取引所の定めに基づく独立役員として指定し、両証券取引所に届け出ております。

■ 事業所一覧 (平成31年3月28日現在)

本店 福岡県うきは市吉井町276番地の1
本社 福岡市博多区比恵町5番1号
東京事務所 東京都墨田区江東橋1丁目11番8号
仙台営業所 仙台市宮城野区東仙台2丁目9番13号
東京営業所 東京都墨田区江東橋1丁目11番8号
名古屋営業所 名古屋市名東区一社2丁目10番地
大阪営業所 大阪府泉佐野市住吉町27番地の1
広島営業所 広島県安芸郡坂町植田1丁目5番1号
福岡営業所 福岡市博多区比恵町5番1号
グレイ・カクストーム 東京都墨田区江東橋1丁目11番8号
精麦カンパニー [製造工場を含む]
福岡県うきは市吉井町276番地の1
吉井工場 (ライ麦製粉工場、ミックス工場)
福岡県うきは市吉井町276番地の1
福岡工場 (製粉工場)
福岡市東区箱崎ふ頭6丁目8番8号
広島工場 (製粉工場)
広島県安芸郡坂町植田1丁目5番1号
大阪工場 (ミックス工場)
大阪府泉佐野市住吉町27番地の1
静岡工場 (製粉 (小麦粉・ライ麦粉)、加工食品工場)
静岡県焼津市飯淵1431番地の1
東京工場 (ミックス工場)
千葉県船橋市高瀬町21番8号

株主メモ

事業年度	毎年1月1日から12月31日まで
定時株主総会	毎年3月下旬
基準日	毎年12月31日
定時株主総会・期末配当	
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
郵便物送付先	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先)	TEL 0120-782-031 (フリーダイヤル)
公告掲載のホームページアドレス	http://www.the-torigoe.co.jp/

お知らせ

・住所変更、単元未満株式の買取・買増等のお申出先について

株主様の口座のある証券会社にお申出ください。

なお、証券会社等に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

・未払配当金の支払について

株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

・「配当金計算書」について

配当金支払いの際送付している「配当金計算書」は、租税特別措置法の規定に基づく「支払通知書」を兼ねております。確定申告を行う際は、その添付資料としてご使用いただくことができます。

ただし、株式数比例配分方式をご選択いただいている株主様につきましては、源泉徴収税額の計算は証券会社等にて行われます。確定申告を行う際の添付資料につきましては、お取引の証券会社等にご確認をお願いします。

なお、配当金領収証にて配当金をお受取りの株主様につきましても、配当支払いの都度「配当金計算書」を同封させていただいております。

※確定申告をなされる株主様は、大切に保管ください。

THE TORIGOE CO., LTD.